



やさしさを広げる3つの輪

令和2年11月発行(昭和51年12月1日発行)

学校生活の工夫や取り組みを考えてみよう

「思いやり・つながり・支えあいの輪」に関する図解。相手の立場で考えよう、正しい情報で相手を知ろう、正しい情報を持つことで自分も相手も守ることができる、感染症予防のための正しい洗い方、家族や友だちが助けてくれたこと、応援してくれたことはどんなことだったか、自分ができることは何かを想像しよう、いつもあいさつをすることで近所のおばあちゃんや、最近見あたりませんか、あなたはどうな気持ちになりますか、そのことを誰に相談しますか、自分の気持ちを言葉や文字で表そう、得意なことを活かそう、できそうなことを見つけにくい時は、得意なことを探してみよう、家族や友だちが助けてくれたこと、応援してくれたことはどんなことだったか、自分ができることは何かを想像しよう、いつもあいさつをすることで近所のおばあちゃんや、最近見あたりませんか、あなたはどうな気持ちになりますか、そのことを誰に相談しますか、自分の気持ちを言葉や文字で表そう、得意なことを活かそう、できそうなことを見つけにくい時は、得意なことを探してみよう。

新型コロナウイルスから考えてみよう

新型コロナウイルスの感染拡大から考える「病気」「不安」「差別」の3つの顔。第1の「顔」健康、第2の「顔」安心、第3の「顔」共生。やさしさが広がる3つの顔に！、自分ごとまわりの人のことも大切に思いやりの気持ちを持つことで安心が生まれます、心もからだもみんなが元気になる、二人にならない！つながることで共生が生まれます、共々に生きていく、自分ごとまわりの人のことも大切に思いやりの気持ちを持つことで安心が生まれます、心もからだもみんなが元気になる、二人にならない！つながることで共生が生まれます、共々に生きていく。

SDGs 17のゴール 私たちにできること

SDGs 17のゴールに関する図解。地球と17のゴール、ゴール3: すべての人にけんこうと福しを、けんこうと福し...、それはこんな意味だよ、1. 100歳まで健康で元気に生きよう、2. 小生になるまで生きよう、3. 予防できる病気を予防しよう、4. 甲どくにならないようにしよう、5. 自分からだけりを知ることができるようになる、6. 病院などに行くことができるようにしよう。

みんなで広げよう シトラスリボンプロジェクト、新型コロナウイルスの影響による差別や偏見をなくそうと始めた活動です、学校や会社で感染した人が出た時、その後も「おかし」「がねはったね」とやさしく迎えられる地域のために、シトラス色のリボンで気持ちを表します、飯田市立 緑ヶ丘中学校の活動、市内の水引製造会社の方に指導していただきました、2学年生徒会企画「シトラスリボン」を飯田の伝統文化の一つである水引で作り、「シトラスリボン」をとおして、みんなが安心して過ごせる毎日を地域にも広げていく活動に結びつきたいとします。

長野市立 長沼小学校の取り組み、遠く離れた学校の仲間とオンラインで交流、新潟県長岡市 中之島中央小学校 と交流、昨年台風19号の被害を受けた長沼小学校の6年生が、中之島中央小学校のみなさんとオンラインで交流しました、思いやり、支えあう、つながる、相手のことをちゃんと知ろう、相手のことを考え、思いやる気持ちが行動になり、学校間の交流につながりました、新しいつながり方で、遠く離れていてもお互いの気持ちを合わせることができました。

各校のボランティア・地域活動の紹介

駒ヶ根市立 中沢小学校、炭焼きにこめる地域への思い、自然をもち伝統を受け継ぐ地域活動を通して、6年生が1年生をサポートします、薪に詰めます、炭に詰めます、大きな炭とばら炭をバランスポイントに入れます、中沢小学校は、正面に雄大な中央アルプスの山々が座す自然豊かな学校で、地域の人の寄付によってつくられました。「子どもは中沢の宝」を合い言葉に、地域の方が小学校「応援隊」として環境整備などで学校に積極的に関わっていただいています。緑日「駄菓子屋」、米作り、しいたけ栽培、ザザン漁などを通して、私たちは地域の人と交流を深めています。そんな本校の伝統の一つに炭焼きがあります。山からナラの木を切り出し、親子作業でちょうどよい大きさに整えます。この原木を使い、学校にある炭窯で年4回炭焼きを行います。年度初めの1回目は全校で行い、低学年と高学年が交流しながら炭に詰め、入り口をふさいで点火します。炭化するまでは昼夜を問わず火の当番は欠かせません。6年生が交代で窯の様子を見、1週間程度で炭ができます。1、2年生が窯から運び、5年生が大きさを切りそろえ、3、4年生が袋詰めして計量します。6年生は全体の流れを見てサポートし、次の炭焼きの準備を行いながら販売活動へとつなげていきます。私たちは中沢の伝統産業である炭焼きをはじめ、さまざまな活動をを通して地域への想いを高め、この豊かな自然を地域の方々と一緒に守っていききたいと思っています。

川上村立 川上第二小学校、ふやそう! 花と緑とみんなの笑顔、地域の一員として私たちにできること、川上第二小学校は、千曲川源流の一番近くに位置する学校です。川上村はレタス作りが盛んで、夏は村中がレタス畑となり、きれいな景色が望めます。また、地域の方が植えた花が色鮮やかとなります。そんな素敵な取り組みを見て、本年度5年生は「私たちも学校や地域を花やみどりいっぱいにしてい」という願いをもち、地域ボランティアの方に教えていただきながら花壇づくりや花づくりを行っています。花壇づくりでは土づくりをはじめ、様々な工程も話し合いながら進めてきました。花々が生き生きと咲いている様子を見ると、苦労した分、喜びや感動がいく

あの災害を忘れない、令和元年(2019年)の台風第19号は、長野県内に記録的な大雨をもたらしました。千曲川を中心とした川の氾らんや土砂災害が、住宅や農地、学校やお店などが被害にあいました。令和2年(2020年)の台風第19号は、長野県内に記録的な大雨をもたらしました。千曲川を中心とした川の氾らんや土砂災害が、住宅や農地、学校やお店などが被害にあいました。被災から約1年となる令和2年9月24日にプレハブ校舎から引っ越し、本校舎が使えるようになりました。被災から復旧した体育館で工事関係の方々に感謝のメッセージを発表、10月13日には、全校で避難訓練を行いました。あわせて、きれいに直した体育館では、「感謝の日」として、これまで学校の工事や応援してくれた方へ感謝の気持ちを伝えました。

チャイルドライン、18歳までの子どもがかけられる「子ども専用電話」、フリーダイヤル 0120-99-7777、困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき...気軽にかけてください、ちょっとしたいいことでも、名前は言わずにいいので安心して話してください、お説教はしません、どんなことでも、いっしょに考えます、みんなにカードが届くよ、フリーダイヤルでかけよう、0120-99-7777

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう!、長野県社会福祉協議会、まちづくりボランティアセンター、〒380-0928 長野市若里7-1-7 県社会福祉総合センター内、TEL.026-226-1882 FAX.026-228-0130、電子メール vcenter@nsyakyu.or.jp、ホームページ http://www.nsyakyu.or.jp、公益社団法人 信濃教育会、〒380-0846 長野市旭町1098 TEL.026-232-6994、ホームページ http://www.shinkyu.or.jp/、やまびこだよりは、長野県社会福祉協議会のホームページからPDFファイルおよび音源データとしてダウンロードできます。http://www.nsyakyu.or.jp

この新聞の発行には、みなさんの楽しい羽根共同基金が役立てられています。

